聴力資料

一番

男の人：そうですか。あのう、匂いと一緒に何か煙ようなものを出ていますか。

女の人：煙ですか。それは出てません。

男の人：それではレンジの上になにか置かれていませんか。

女の人：いえ、特に。

男の人：えと、そうしましたら、レンジの内側に食品の滓や油がついて

　　　　それが加熱されて匂いの原因になることもあります。汚れを 拭き取っていただきますと匂いがしなくなると思います。

女の人：はい、やってみます。

男の人：で、もしそれでも解決しないようなら、修理に出してください。その場合は、担当者が引取りに伺いますので、

　　　　お手数ですが、再度お電話いただけますか。

女の人：わかりました。

男の人：では、よろしくお願いいたします。

憤る（いきどおる）

二番

課長：あっ、林くん、おはよう。今、大阪支社から電話があって、昨日到着するはずの荷物がまだ届いてないんだって。

男の人：えっ、新商品のサンプルと商品紹介の資料ですよね。昨日大阪に届くように送ったんですが。

課長：明後日の家電フェアで使うものだから。今日には届いてないとまずいよね。

男の人：予備のものをすぐ送りますか。

課長：うん、ちょっとまって。とにかく、荷物の状況を把握しないと、運送会社に問合わせてくれる。

男の人：はい、わかりました。

課長：資料は電子データで事前に送ってあるから。問題はサンプルの方だよね。万が一、見つからないなんてことになったら、直接持って行ったほうが早いね。

男の人：そうですね。

課長：大阪支社には私が連絡しておく。日が迫ってるからすぐ動いてね。

男の人：はい、わかりました。

三番

大学で国際交流サークルの男の学生と女の学生が話しています。男の学生はこのあと、何をしなければなりませんか。

男の学生：先輩、今度の留学生との交流会五十人も申込みがありました。みんなでお好み焼きを作ってたべるっていう企画が良かったんでしょうか。留学生と日本人が半々ぐらいです。

女の学生：五十人か、予想以上だね。申込者の情報をまとめておかないと、国籍とか学部とか、グループ分けに必要な情報を入れて、リストを作ったほうがいいね。いつもより、人数が多い

から、いろいろ大変かもね。

男の学生：そうですね。調理の道具ももっと用意したほうがいいです。

女の学生：道具は余裕を持って用意してあるから。それより、当日の進め方をよく考えないと。うん、自己紹介はいつもみたいに一人ずつ順番にしてもらうんだと、時間かかっじゃうよね。

ちょっとしたゲームとかのほうがいいか。

男の学生：ああ、知り合うきっかけ作りになるような...

女の学生：うん、来週のミーティングまでにちょっと考えてみるよ。グループ分けも来週したいから、それまでにリスト、お願いしてもいい？

男の学生：あ、はい、わかりました。

女の学生：当日のスケジュール表はわたしが叩き台を作ってくから。ミーティングで確認しよう。

四番

会社で女の人と男の人が話しています。男の人は、これから、まず何をしなければなりませんか。

女の人：加藤さん、来年の新入社員の研修なんだけど、今回も全体のコーディネート、お願いしますね。

男の人：はい、確か、去年実施した社内アンケートで改善して欲しいっていう意見がありましたよね。

女の人：うん。パソコンの基本操作を研修で扱ってほしいっていう意見が多かったね。最近、スマートフォンなんかが普及したせいか、キーボード入力とかのパソコンそ操作に慣れてない人が

結構いるんだよね。

男の人：ええ、ただ、できる人は出来るんですけどね。

女の人：うん、だから、新入社員のパソコンスキルを研修前に確認したらいいと思うんだ。ちょっとインタネットで探してみたら、パソコンのスキルがどれぐらいかを無料で簡単に測定してくれる

テストがあるみたい。実技と知識の問題が含まれてるようなんだけど、内容は適当かどうか、試しにやってみてくれる？サイトを教えるから。

男の人：わかりました。もしそれを使うとしてスキルの低い人がいたら、どうしますか。そういう人向けのマニュアルでも作りますか。

女の人：マニュアルだけじゃ難しいでしょう。

男の人：そうですね。

女の人：結果を見てから、それに合わせて研修の内容を考えましょうか。外部に講師の派遣を頼んでもいいし。

男の人：わかりました。

五番

出版社で雑誌の記者と編集長が話しています。記者は、このあと、何をしなければなりませんか。

記者：編集長、この間確認をお願いした特集記事の原稿、見ていただけたでしょうか。

編集長：うん、見たよ。四十代からの転職がテーマだよね。上手くまとめられてはいるんだけど、転職経験者の話はインタビューを元にしてるんだよね。

記者：はい。五人の方にインタビューした内容をまとめて、記事にしてあります。

編集長：五人か、うん。まあ、人数はそれでよしとして、内容を要約するために言葉を言い換えたりしてると思うんだけど、その人達が使った表現をそのまま記事に盛り込むといいんじゃないかな。生の言葉の方が断然インパクトがあるから。

記者：ああ、はい。

編集長：録音したインタビューは文字にしてある？

記者：え。全部ではないんですが、重要なところは。

編集長：そう。じゃ、その中で、記事にそのまま使えそうなのがないか見てみて、せっかくインタビューしたんだから、最大限生かさないと。

記者：はい。

六番

バザーの会場で女の人が話しています。ボランティアの人たちは、これから、まず、何をしなければなりませんか。

女の人：えー、ボランティアの皆さん、こちらに明日のバザーの品物が集めてありますので、仕分けと値段のシール貼りをお願いします。品物ごとの値段一覧表を見ながら、シールを貼っていってもらいます。えー、衣類、おもちゃなどの種類別にわけてからの方が効率がいいので、先にそれをお願いします。それぞれ箱を用意したので、入れていってください。去年は新品課、中古課の区別もしたんですが、煩雑なので、今年はその区別はしません。去年も参加された方、ご注意ください。値段を付け終わったら、各販売コーナーに運んでいただきます。何を、どこで、売るかは既に会場内に貼ってあります。

一番

会社で女の人と男の人が話しています。女の人は何が残念だと言っていますか。

女の人：うちの会社、社長が交代してから、いろいろ変わったよね。

男の人：ああ、社内の雰囲気明るくなったよね。鍋の新しいシリーズの売り上げが好調だからかな。

女の人：ああ、そうだね。

男の人：どうしたの。

女の人：前の鍋のシリーズ、製造中止になったでしょう。個人的にはすごく愛着のある商品だったから、残して欲しかったなあって。創業時からの看板商品だったのに。

男の人：うん。僕は新しいシリーズも好きだけどなあ。デザインもおしゃれだし、品質も更に良くなってるし。

女の人：それは確かに、使い勝手もいいって評判だよね。

男の人：まあ、前のシリーズの製造をやめたのは工場の生産ラインの整理ってことだから、仕方ないよね。

女の人：社長が決めた方針だから仕方ないとは思うんだけどね。ただ、残念なだけ。

二番

テレビでアナウンサーと男の人はあるサッカーチームについて話しています。男の人は、どうして、このチームに注目していますか。

アナウンサー:今日は、サッカー解説者の佐藤さんに今年の優勝チームを予想していただきたいと思います。では、佐藤さん、早速ですが。

男の人：あっ、はい。ええ、今年は特にこれと言ったチームはないですが、その中で私が注目しているのがリング東京なんです。

アナウンサー:　ほかの方の評価はあまり高くないようですが

男の人：まあ、そうですよね。チームに資金力がないので、新たな選手の獲得はできませんでしたし、主力の鈴木選手も怪我の影響で今年はプレーできそうにありません。

アナウンサー：はい。

男の人：ところがですね。去年の後半からレギュラーに定着した二十代前半の選手、実はこのような若い選手がチームの半分を占めているんですが、試合を重ねるごとに、プレーの質が上がってきているんですよ。

アナウンサー：ああ、確かに。

男の人：ええ、ですから、これで今シーズン、選手の間に監督の試合の進め方が浸透していたら、ねえ。今年ひょっとしたらひょっとするかもしれません。

アナウンサー：そうですね、そうなると、これは期待できるかもしれませんね。

三番

パソコン講座で先生が話しています。今日これから、勉強する内容はなんですか。

先生：ええ、それでは、今日も引き続き文章作成の方法について勉強していきますが、その前に、何か質問ありませんか。ええと、なければ、図表や画像の挿入に入ります。ええと、前回はごく基本的な文字入力、ああ、それと文章の保存方法についてでしたね。それも踏まえて、じゃ今日はやっていきます。あ、最初の段階からレイアウトにこだわる人もいますが、それはもう少し先でやりますので、今日は見た目の悪さには目を瞑ってください。では、始めましょう。

四番

レストランでインテリアコーディネーターの女の人と店のオーナの男の人が話しています。女の人は、この店の売り上げを伸ばすためにどんなアドバイスをしていますか。

女の人：今日は、こちらのお店の改装のご相談ということですね。

男の人：よろしくお願いします。店も随分古くなったので、内装を変えたいと思ってるんます。売上も伸び悩んでるので、これをきに来客数を増やせればいいなあと。

女の人：そうですか。こちらのお店は壁の色が青で統一されてるんですね。青系の色は清潔なイメージを与えるんですが、赤やオレンジ系の色の方が活動的な気分になるので、客の滞在時間が短くなると言われています。

男の人：ああ、回転率が上がるってことですね。そうなればありがたいです。

女の人：でしたら、この点を改善されるといいと思います。あとは照明ですが、店内の明るさは十分ですね。照明が明るいと、来客数が多く期待できるんですよ。

男の人：はあ、飲食店ではあまり明るくしないほうがいいという意見もあるので、どうかなと思ってたんですが。

女の人：ええ、まあ、テーブルの間隔が狭いお店では、隣の席の人とかが視界に入りやすいので、明るいと居心地が悪くなるんですが、これぐらいテーブルが離れていれば問題ないと思います。

男の人：そうですか。

女の人：植物を置いたりすることをおすすめすることもあるんですけど、それはもっと、ゆっくり寛いでもらいたいお店の場合ですね。

男の人：なるほど。じゃあ、少し検討をさせてください。

五番

女の人と男の人が使わなくなった携帯電話について話しています。男の人が、携帯電話の部品の再利用に協力していないのは、どうしてですか。

女の人：村田くんは使わなくなった携帯ってどうしてる。

男の人：引き出しに入れてあるよ。なんで。

女の人：新聞で見たんだけど、廃棄された家電や携帯の部品から金や希少金属を取り出して、　再利用してるんだって。

男の人：ああ、知ってる。製品一つ一つから取れる量は少ないけど、廃家電全体では莫大の量の金属になるらしいね。

女の人：うん、携帯電話も日本全体で使われてる数ってすごいもんね。私もこの前、古い携帯お店に持ってたよ。村田くんも、回収に出せばいいのに。

男の人：ああ、いや、はじめて買った携帯だし、データも残ってるし。

女の人：データを確実に消去してくれるお店なら、心配ないよ。手続きがあやふやなお店だとやめたほうがいいけど。

男の人：個人情報は流失しないように対策取れると思うんだけど、いろいろ思い出もあるから、簡単には手離せなくて。

女の人：ええ、貴重な資源だよ。

男の人：まあね。

六番

ラジオで女のアナウンサーと社長が話しています。漫画は社長にとって、何に役立っていると言っていますか。

アナウンサー：こんにちは、社長の読書のコーナーです。早速ですが、吉田社長は人気漫画の侍物語を全三十巻お読みになったと伺いましたが。

社長：ええ、それがきっかけでうちの商品開発につながったんですよ。漫画はアイディアの宝庫だと思います。他にも漫画からヒントを得って作った商品があるんですよ。